

## 編集後記

— 20周年記念特別号発行を終えて —

水素エネルギー研究開発のこれまで20年間の軌跡は、国内外とも、隆盛と低迷の一周期を経て、現在ふたたび隆盛の機会に望んでいるようです。20周年記念に寄せられたメッセージにもそれが読み取れます。本会の20周年と偶然一致して、工業技術院のニューサンシャイン計画が発足し、水素エネルギーがナショナルプロジェクトの目標の中に組み込まれたことは、本会会員にとってもとりわけ大きなニュースではないでしょうか。このプロジェクトには国内ばかりでなく海外からも、非常に多数の企業が関心を示しているそうです。

諸先輩会員のご活躍を通して本会が小学会ながらも国際的なアクセスを持つに至っていることは、海外から寄せられた祝辞にもうかがわれる通りです。新しいナショナルプロジェクトに関心を持たれる企業の方々が、本会の蓄積を利用されつつ活発なボランティア活動を行われることを心から期待しております。学協会活動の絆は会誌にあると思います。本誌は水素とその関連の、基礎科学からエネルギー技術経済までを幅広く対象とするものです。論文投稿、記事のご提案をお待ちしております。

本会は1973年夏、神田英蔵先生、赤松秀雄先生、伏見康治先生、太田時男先生など、各分野の泰斗のご指導によって発足しました。その設立主旨は毎号本紙の巻末に掲げられています。高度成長の時代精神が横溢していた当時であって、このような主旨を謳われ後進にルールを敷かれた先生方の洞察と知性に、深い尊敬の念を新たにしているところです。

本会の20周年を記念する会誌編集にたずさわれたことを大変な名誉に思う反面、もっと魅力のある会誌が作れないか、というもどかしさを強く感じている昨今です。会誌の編集方針、内容、体裁などについても、ご助言、ご意見、ご叱責等を事務局あてご自由にお聞かせ下さるよう、切にお願い申し上げます。

編集委員長  
伊原 征治郎